

INAX 濾水器内蔵キッチン水栓 オールインワン浄水栓

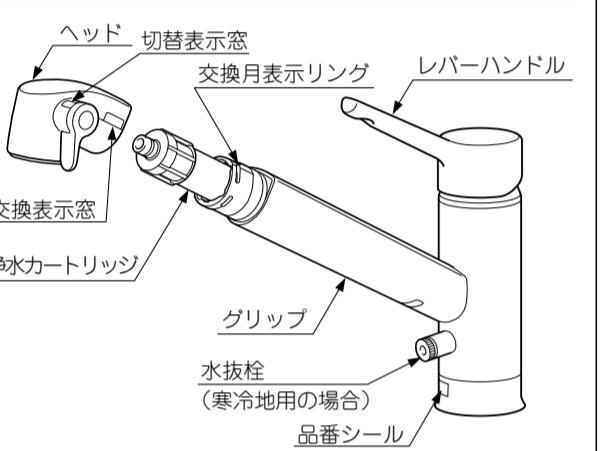
取扱説明書(保証書付)

右記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番ラベルをご確認ください。品番以外の位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになつた後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

- 安全上のご注意 1
- ご使用前に 2
- ご使用方法 3
- 凍結の恐れがある場合 4
- 日常のお手入れ 5
- 定期的なお手入れ 6
- 定期的な部品交換のお願い 7
- 修理を依頼される前に 8
- アフターサービスについて 9
- 浄水ヘッドの購入方法 10

商品概要と各部の名称



*品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

注意 この水栓には、まだ「浄水カートリッジ」を取り付けていません。必ず使用前に取り付けてください。

●初期状態は、浄水カートリッジが入っていません。水栓をご使用になる直前に、浄水カートリッジを取付けてください。
お客様ご自身で簡単に取付けできます。(2 参照)
●浄水カートリッジは、水栓に取付けてある袋に入っています。
●水栓に取付けてある袋の内容物をご確認ください。

●交換用浄水カートリッジは「LIXILオンラインショップ」にて購入いただけます。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

*品番・取付日・お客様・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名: オールインワン浄水栓	保証期間	取付日より2ヶ月(浄水カートリッジは除く)	年 月 日
無効			
お客様	おなまえ	TEL ()	
お客様	おとこ		
お客様	おんわ	()	
●保証は再販せしもので、紛失されないよう大切に保管してください。 ●お客様ご自身で記入いただく前の保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。			

無料修理規定(保証規定)
1.「取扱説明書」、「パッケージ」などの注意書きに従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。

2.修理を受ける場合、お買求めの取扱店に依頼のうえ、本体をご提示ください。

3.ご販売、ご贈呈など、本体に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

4.保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
(1)用途外(車両、船舶及び使用頻度が過度に高い業務用等)で、使用した場合の故障及び損傷等の不具合

(2)指定販者や施工者の説明書等に基づかない施工等により発生する故障等

(3)お客様が適切な使用・維持管理を行なったことによる故障及び損傷等の不具合

(4)専門業者以外による移設、修理、分解等に対する不具合

(5)運送や搬入、保管等による外的要因による故障及び損傷等の不具合

(6)経年劣化使用による外的要因の現象(色あせ、もしや、錆等)または使用による消耗部品の磨耗等により生じる不具合

(7)本体の構造上の欠陥による故障及び損傷等の不具合

(8)天災地災(火災、ねずみ、昆虫等)や根拠の植物の害による故障及び損傷

(9)戦争・暴動等の破壊行為等の外的要因による故障及び損傷等の不具合

(10)修理等による故障等の不具合

(11)自然現象や住環境に起因する故障、染み出し・かび等の現象

(12)消耗品(浄水カートリッジ・バッキン、ヒューズ、電池等)の消耗による故障及び損傷等の不具合

(13)温泉水、井戸水などであつて製品の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷等の不具合

(14)寒冷地用としている製品の場合は、温水の供給による故障及び損傷

(15)ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電源・電圧、周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音・振動等)に起因する故障及び損傷等の不具合

(16)保証書の期限切れまたは表示している場合

(17)本書にお取付日、お客様の名前、取扱店の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合

(18)本書は日本国内においてのみ有効です。

(19)本書は、常に期間内において、無料修理を行うことをお約束するものです。従つて、本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間終了後は修理など、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。

7.修理等による補修用部品の保有期間は、製造打ち切10年です。

商品のお問い合わせはお客様相談センターまで

TEL 0120-179-400 受付時間 平日 9:00~18:00

FAX 0120-179-430 (ゴルドテレカ、携帯、年始年終休みは除く) TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

*フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。右記番号をご利用ください。

株式会社 LIXIL ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/ GMS-1941(18041)

はじめに

1 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになつた後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
!	「注意しない！」(上記の「警告」、「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
!	「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
!	「分解してはいけません！」
!	「指示した場所には触れてはいけません！」
!	「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

△ 警告: ヤケドをしないために

小さいお子さまだけでの使用に適してください。
修理技術者以外の人は必ず水栓本体や浄水カートリッジを分解したり、修理・改造は行わないでください。

他の水栓や開閉使用しないでください。
※水流変動により湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。

給湯機器の給湯設定温度は85°C以上で使用しないでください。
※湯温が85°C以上になると、ヤケド防止のため、60°C給湯を必ずします。

※湯温が85°C以上になると、ヤケドをする恐れがあります。

※湯温が85°C以上になると、湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。

お手入れ

6 日常のお手入れ

布などを使用したお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のこととに注意してください。
●汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。

注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
・クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
・ナイロンたわし、ブラシ等
・シンナー、ベンジン等の溶剤
※ビニ割れや変色の原因となります。まちがって使用した場合は、すぐに水洗いをしてください。



●酸性・アルカリ性の洗剤は本体の変形、変色、故障、性能劣化の原因となりますので使用しないでください。また、掃除で酸性洗剤等を使った場合は必ず本品を十分水洗いでください。

●メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。

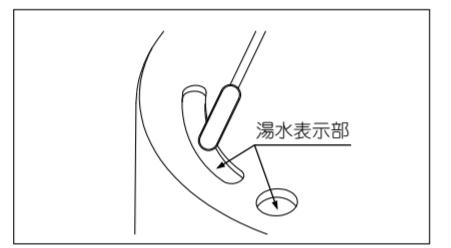
●壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いでください。

ハンドル部の掃除

湯水表示部に汚れが溜まった場合は、水で濡らした布や、綿棒などでふきとった後、最後にからぶきしてください。

注意

先の尖ったもので引っかいたり、強くこすりすぎないでください。
※湯水表示部に傷がついたり、剥がれたりする場合があります。



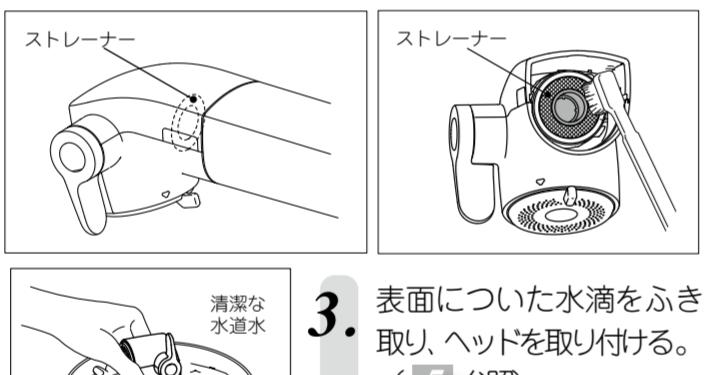
ストレーナーの掃除

ヘッド内のストレーナーにゴミが詰まると、吐水状態が乱れたり吐出量が少なくなったりします。ときどき、次の要領で掃除をしてください。

1. ヘッドを外して（5 参照）、ストレーナーについたゴミを、洗剤を使わず、歯ブラシ等でこすり落とす。

注意

ストレーナーが外れた場合は、すぐに直してください。
※外れたままにしておくと、中の機能部分にゴミが侵入し替えられてしまう原因となります。



3. 表面についた水滴をふき取り、ヘッドを取り付ける。（5 参照）

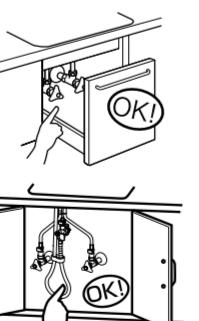
7 定期的なお手入れ

水まわりの水漏れ（年2回以上）

●水まわりの水漏れがない点検してください。

●見えない部分は特に注意が必要です（洗面台・キッチンキャビネット内）
※劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

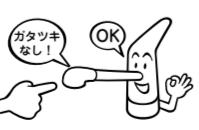
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め（8 参照）、お求めの取付店・販売店または LIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



水栓本体のガタツキ（年2回以上）

●水栓本体のガタツキがないかを確認してください。

※水栓本体にガタツキがあるままお使いになると、配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。水栓本体にガタツキがある場合は、お求めの取付店・販売店または LIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



吐水口部の操作性（月1回以上）

●ときどき吐水口部を回してください。

※吐水口部を長期間回さずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。



定期的な点検・部品交換のめやす

●お客様による日常のお手入れ・点検
●消耗部品の交換
●摩耗劣化部品の交換（逆止弁は3~5年）

●ときどき吐水口部を回してください。
※吐水口部を長期間回さずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。

動きが悪い場合は、お求めの取付店・販売店または LIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。

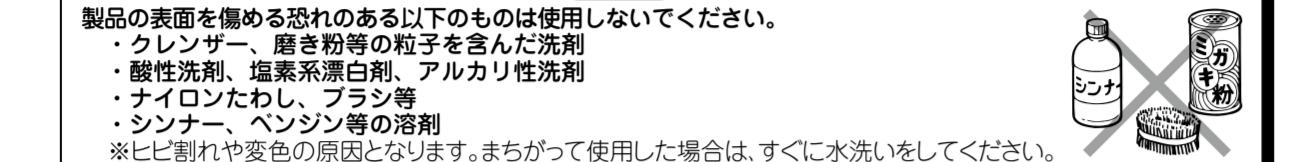
動きが悪い場合は、お求めの取付店・販売店または LIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。

9 散水板の掃除

散水板に湯アカやゴミがたまると、吐水量が少くなります。年に1回程度、散水板の穴を安全ピンなどで刺して、目詰まりを取ってください。

注意

強い力で刺さないでください。
※散水穴が変形する恐れがあります。
安全ピンの取り扱いに注意してください。
※ケガをする恐れがあります。



●酸性・アルカリ性の洗剤は本体の変形、変色、故障、性能劣化の原因となりますので使用しないでください。また、掃除で酸性洗剤等を使った場合は必ず本品を十分水洗いでください。

●メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。

●壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いでください。

散水板内部の掃除

散水板内部のゴミ詰まりは、シャワーや整流の乱れなど、機能を低下させます。ときどき次の要領で掃除してください。

1. ヘッドを外して（5 参照）、散水板を反時計回りに回して取り外し、散水板内部の部品についての汚れを、洗剤を使わずに歯ブラシなどでこすり落としてください。

注意

強くこすらないでください。
※部品が変形する恐れがあります。

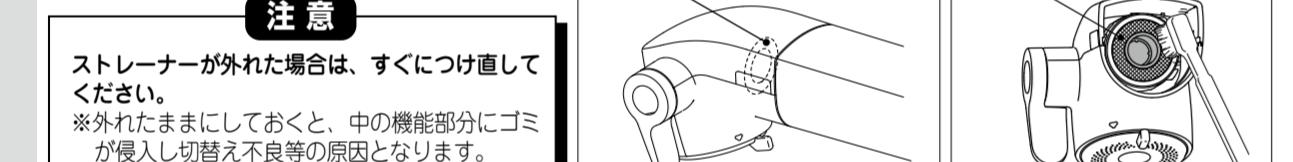
ポイント

散水板は外れるまで回してください。

2. ヘッドに整流板を取り付ける。

注意

オーリングが外れた場合は、再度取り付けてください。



3. 散水板に大小のストレーナーを取り付ける。



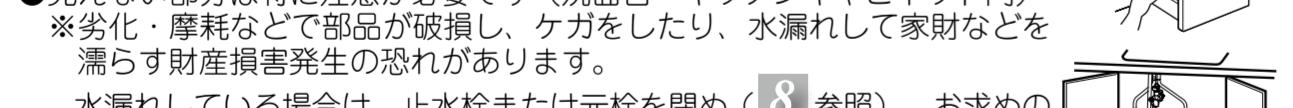
4. 「ヘッドの目印▼」と散水板の突起の位置を合わせてしっかりと奥まではめ込む。



5. 突起が手順1の位置にくるまで時計回りに回して取り付けます。



6. 表面についた水滴をふき取り、ヘッドを取り付ける。（5 参照）



7. 摩耗劣化する部品交換のお願い

摩耗劣化する部品交換のお願い

●部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。

●摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）
例）逆止弁、レバーハンドル、バルブ部（シングルレバーカートリッジなど）、パッキンなど

●部品の交換については、お求めの取付店または LIXIL修理受付センターへご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

※保証期間外の各部品の交換は、有料となります。

●水栓本体のガタツキがないかを確認してください。

※水栓本体にガタツキがあるままお使いになると、配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。

●ときどき吐水口部を回してください。

※吐水口部を長期間回さずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。

●ときどき吐水口部を回してください。

8 定期的な部品交換のお願い

定期的な点検・部品交換のめやす

●お客様による日常のお手入れ・点検
●消耗部品の交換
●摩耗劣化部品の交換（逆止弁は3~5年）

●ときどき吐水口部を回してください。

※吐水口部を長期間回さずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。

●ときどき吐水口部を回してください。

※吐水口部を長期間回さずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。